

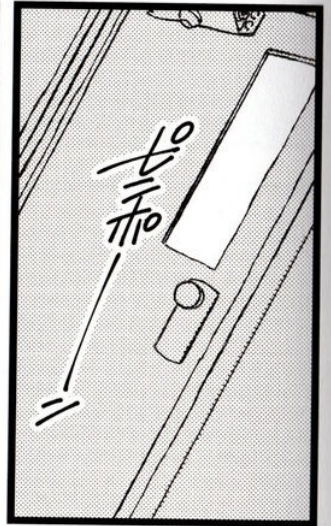
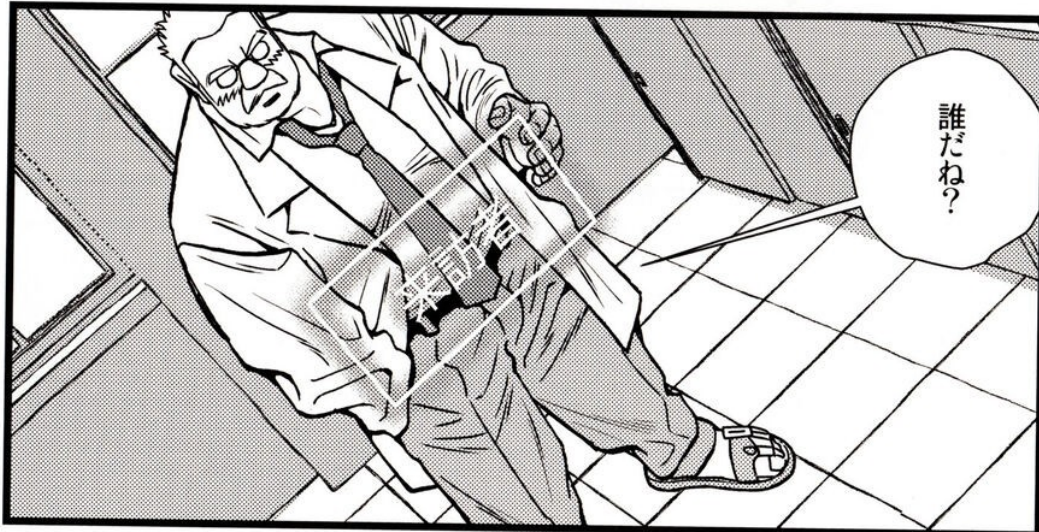
ADULTS  
ONLY  
**R18**  
成人向

**アニマル** [ANIMAL SYNCHRONICITY]

**シンクロシティ 9**

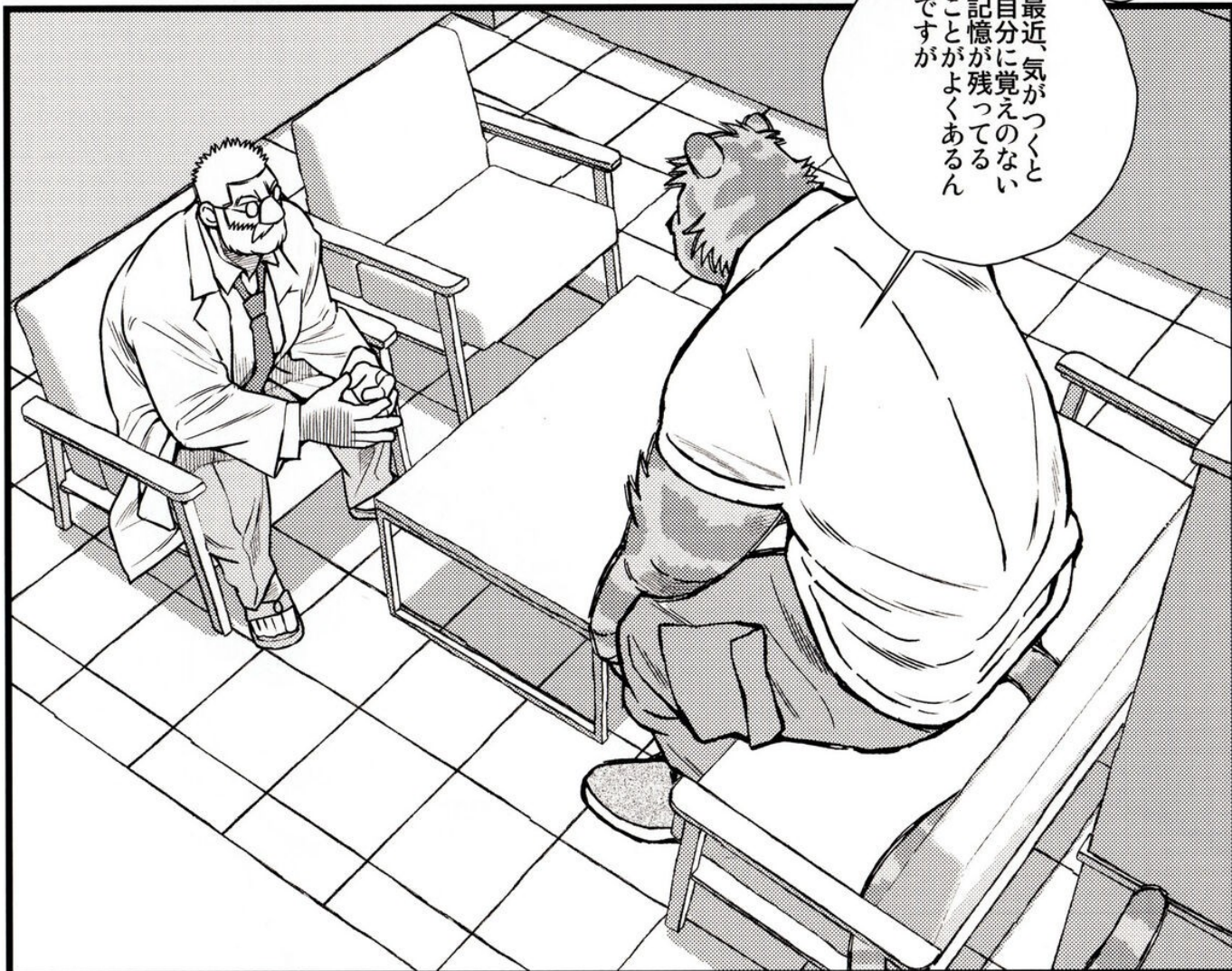
原作・演出 大河準 画・構成 市川和秀

Produced by Jun Ohkawa, Manga by Kazuhide Ichikawa  
from Dual Stream Project



博士

最近、気がつく  
自分に覚えのない  
記憶が残ってる  
ことがよくある  
んですが



むう

やはりあの時  
PERSに  
不具合が生じた  
ようだな



シゲル君は  
何か言っ  
てなかつ  
たかね？

いえ  
シゲルは  
何も…

そうか



実は君の  
プラットフォームの  
人格を抑制している  
PERSのデータを  
取り寄せて

いつでも作業に  
取りかかれる  
準備だけはして  
おいたところだ





シゲル君には  
そう言っておいたはずだが…

今日は  
その件で  
来たんじゃないのかな？

シゲルに？



…あ、いえ

…はい  
今夜はそのために  
お伺いしました。



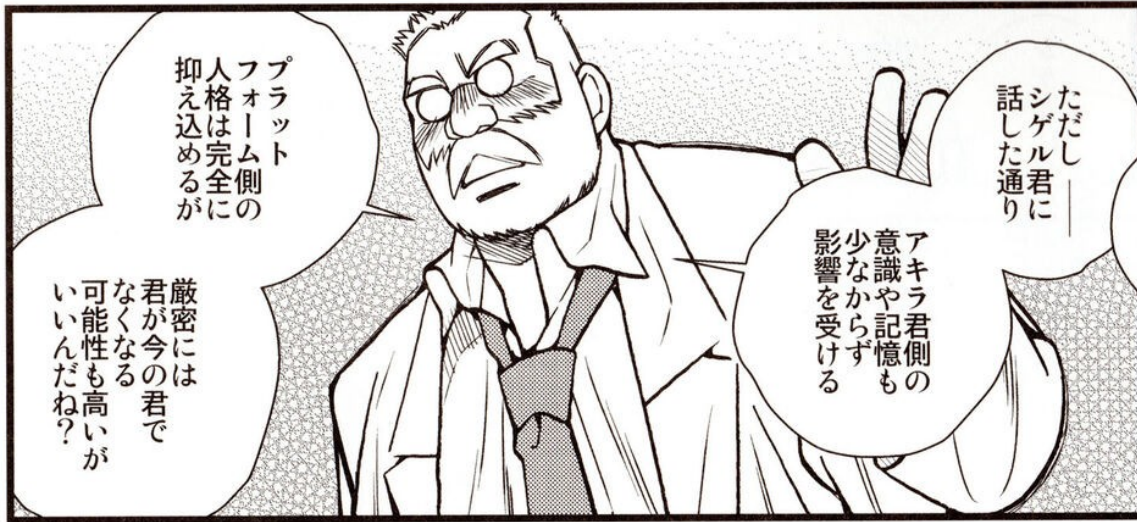
それは  
かまわんが  
シゲル君は？

シゲルは  
後から  
来ます

お願いします  
早く俺を  
正常な状態に  
戻してください



すぐに…  
作業を始めて  
もらっても  
いいですか？



プラットフォームの  
人格は完全に  
抑え込めるが

厳密には  
君が今の君で  
なくなる  
可能性も高いが  
いいんだね？

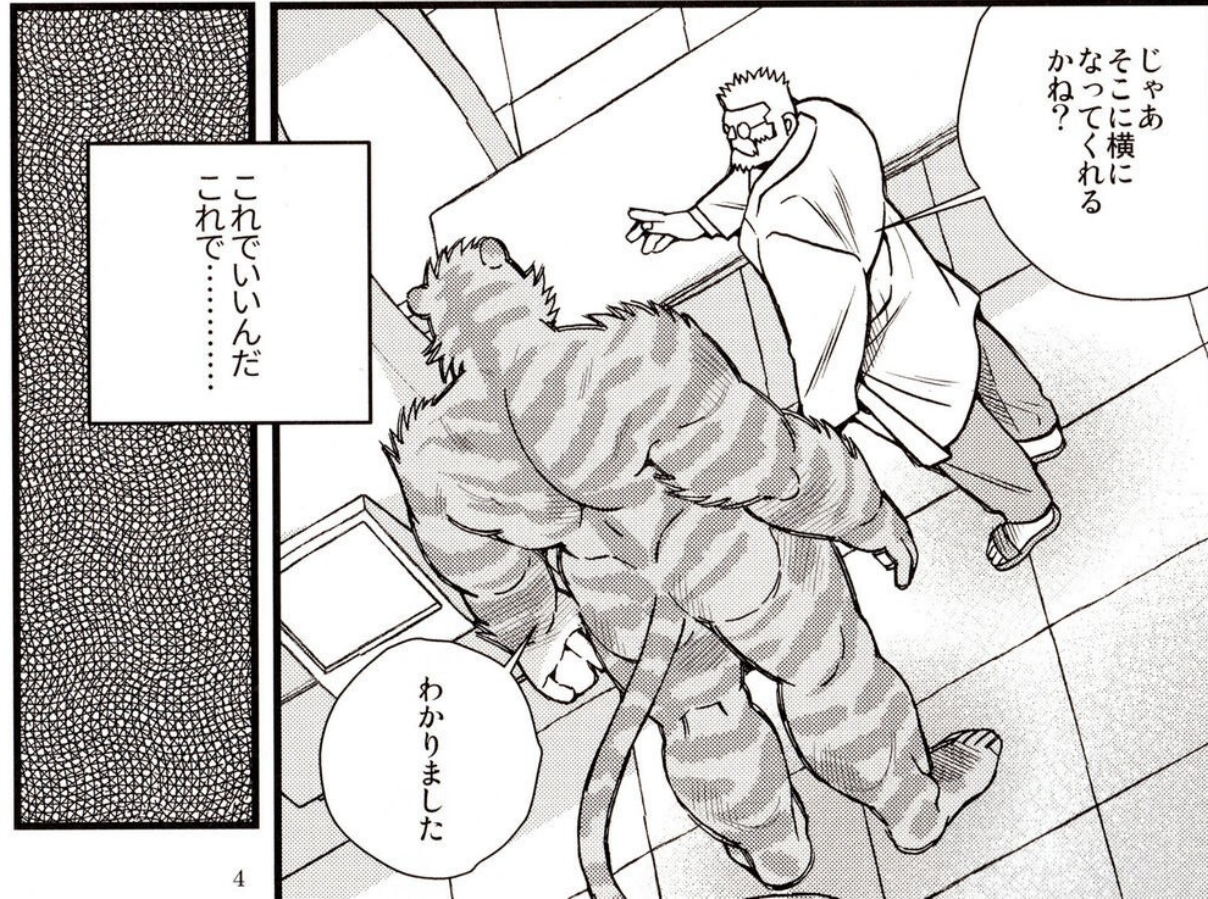
ただし—  
シゲル君に  
話した通り

アキラ君側の  
意識や記憶も  
少なからず  
影響を受ける

……  
わかった



……はい



じゃあ  
そこに横に  
なってくれる  
かね？

これでいいんだ  
これで……

わかりました

わかった



あ

あ

うお

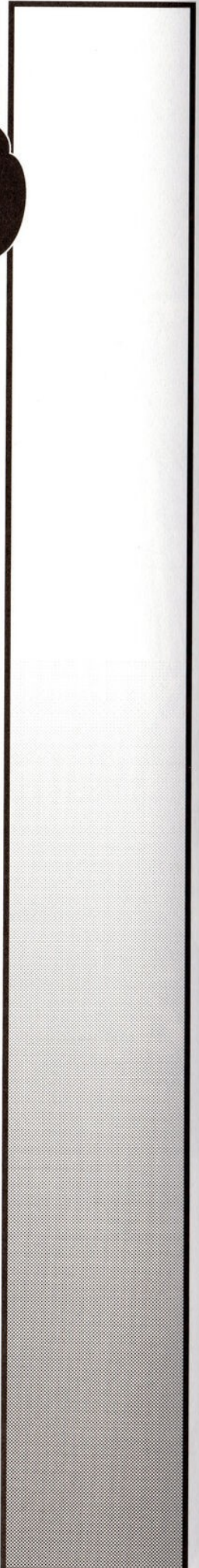
お、奥まで  
来る



あ

あ

あ

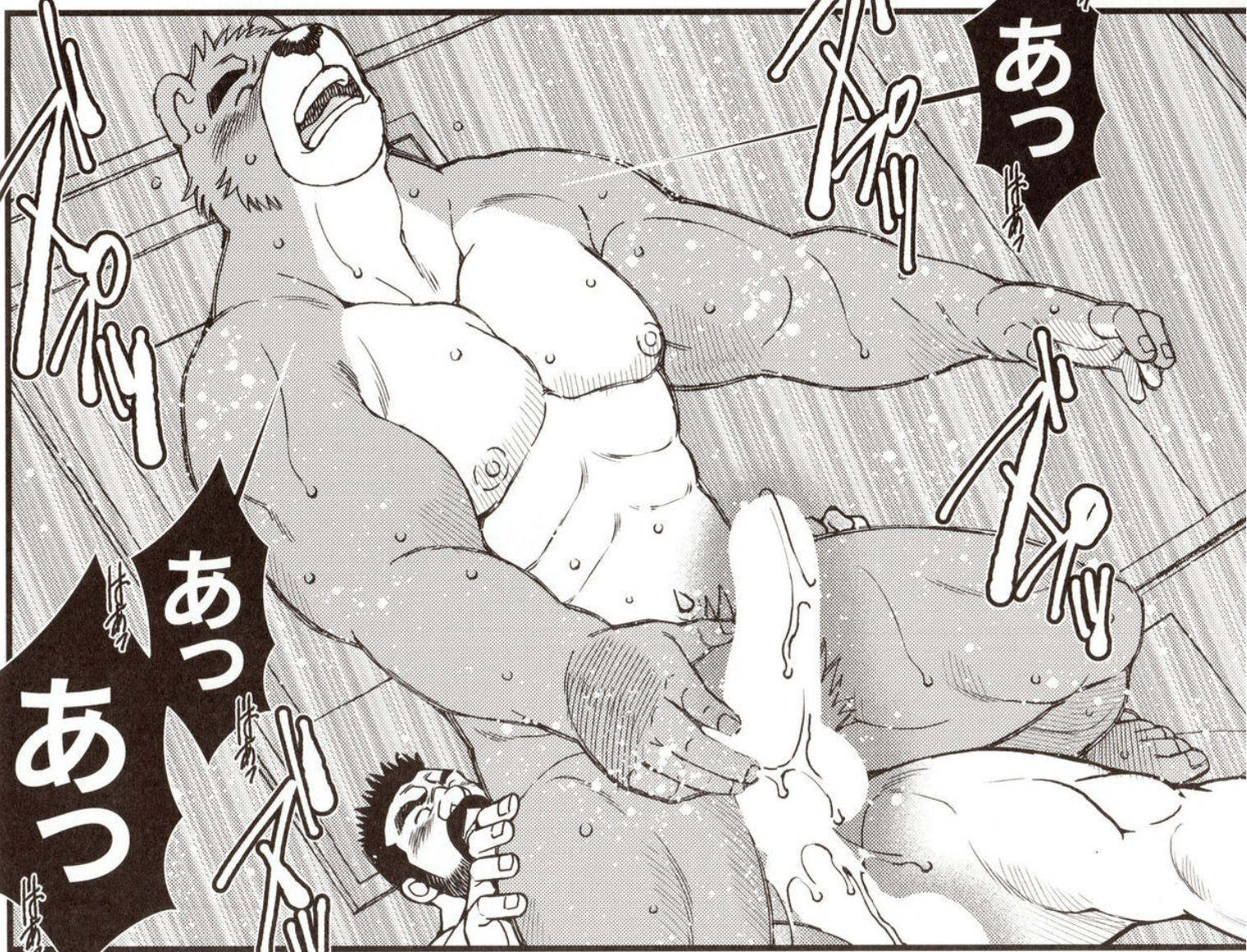




おら  
もっと  
股開いて  
くわえ  
込めや!!



んあっ!!



あっ

あっ

あっ



当たるっ



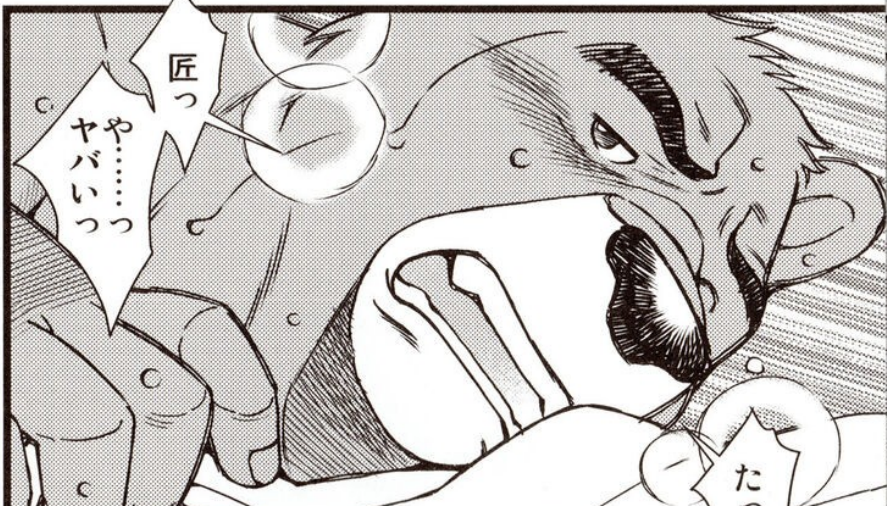
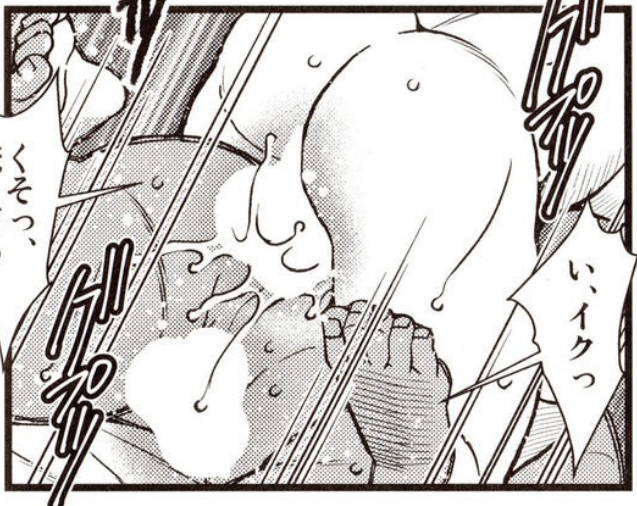
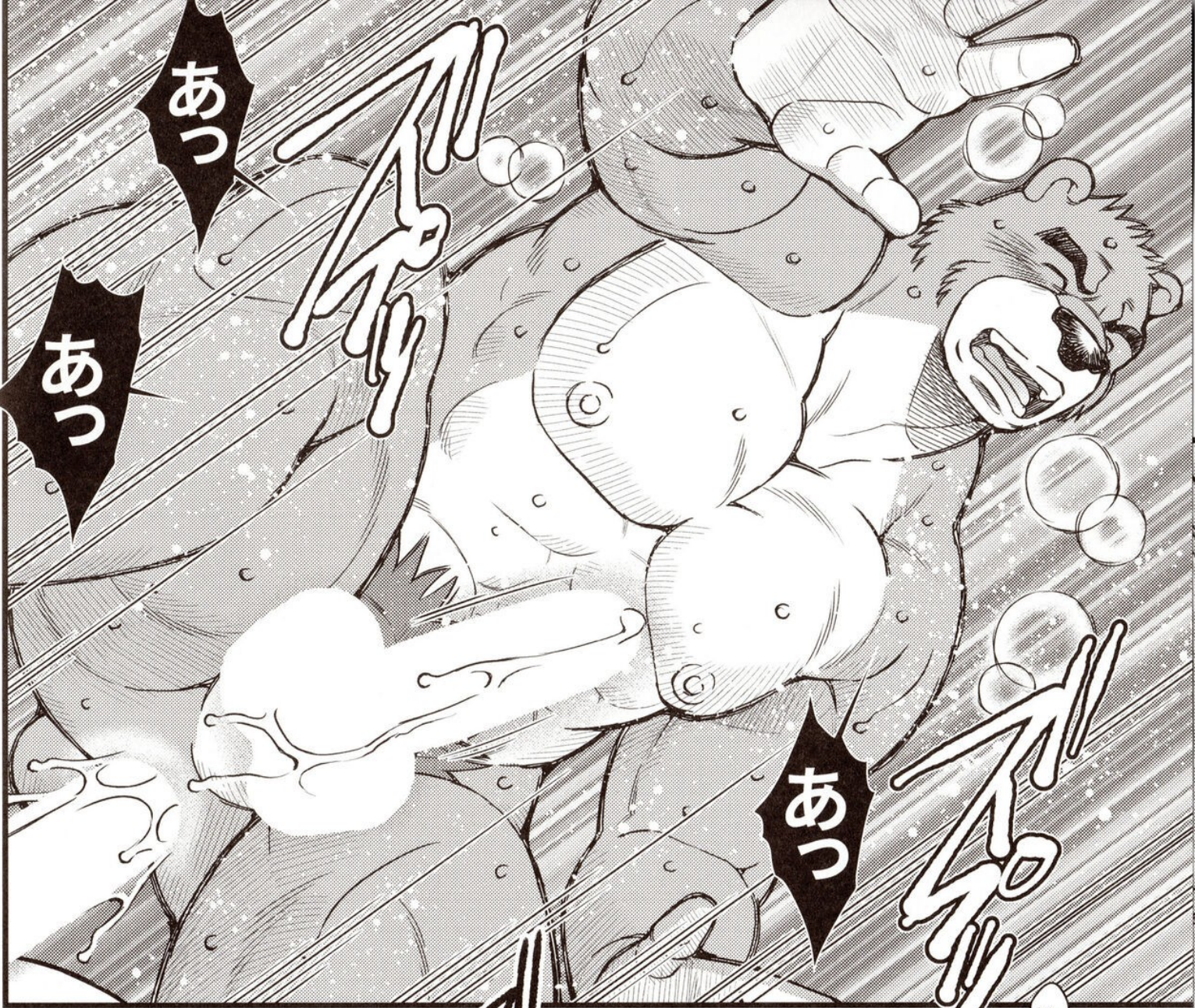
うおっ

うおっ

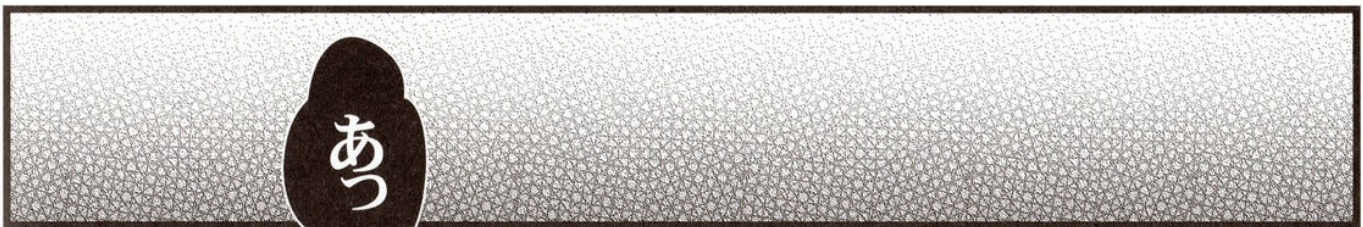


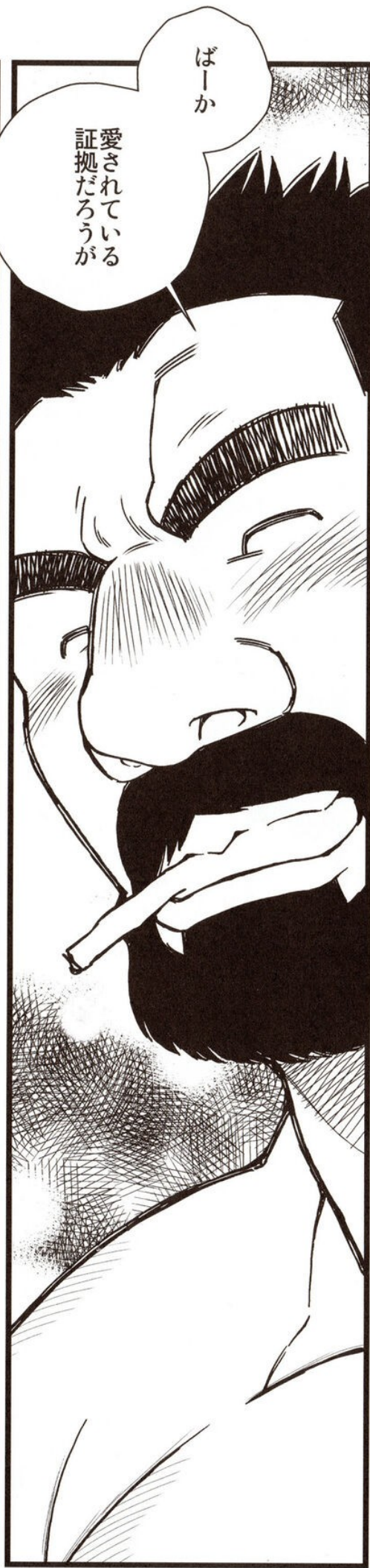
アッ!  
アッ!

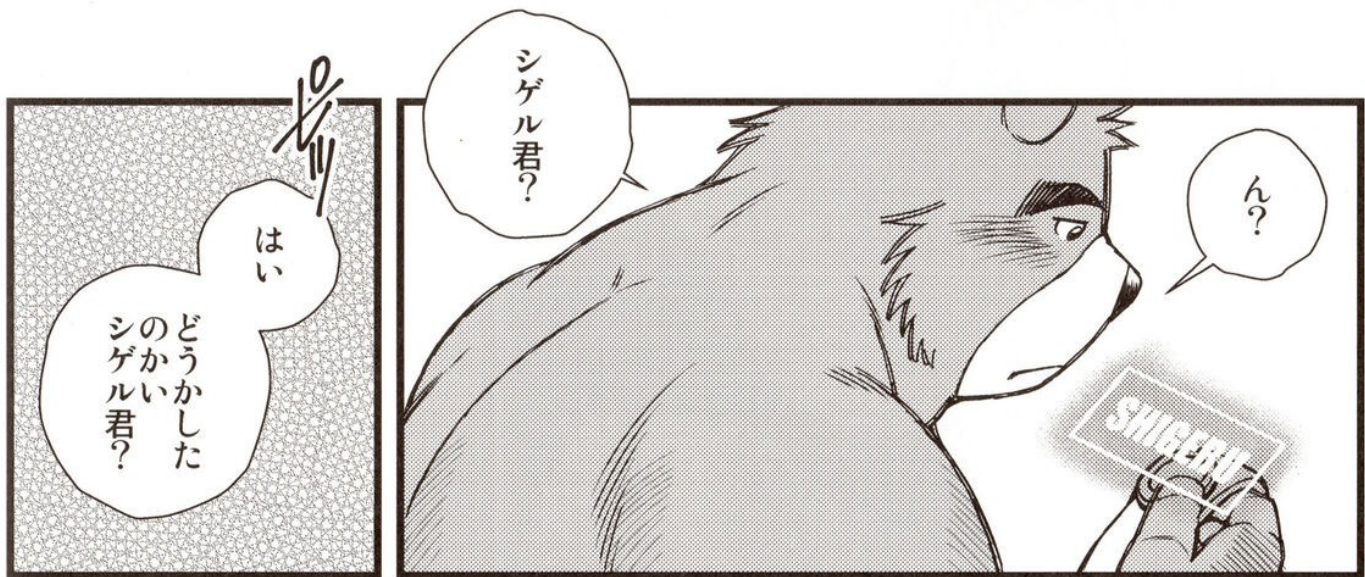
アッ  
アッ











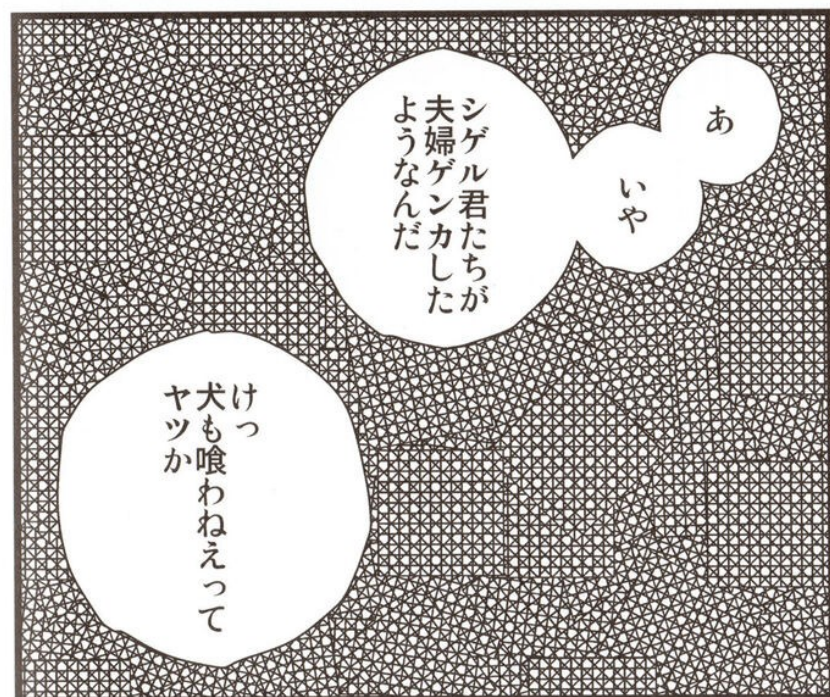
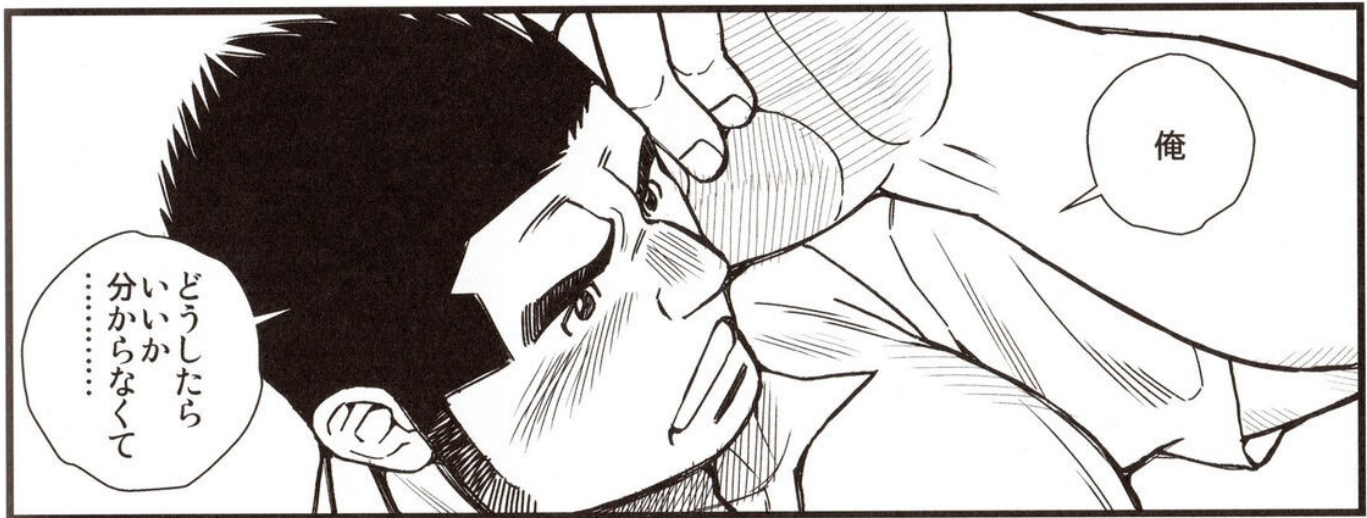
俺

自分のことしか  
考えないで

タクミに  
酷いこと  
言っちゃって

タクミ  
すごく  
寂しそうな  
顔して

『アキラと  
幸せにな』って  
出でっちゃって  
……





.....

けど

タクミの  
言葉がちよっと  
引っかかる……

[PROCEDURE STARTED]

ぐっ…!

[TARGET DATA LOCATED]

[DATA OVERWRITE PREPARED]

んあっ!

[TRANSFER PHASE STARTED..]

シゲ…ル

ゴッロー!?



やっぱり  
ここだったか

シゲル君から  
タクミが  
居なくなっちゃって  
電話をもらったときに

たぶん  
ここじゃないかと  
思ったんだ



タクミが  
アキラを  
道連れに  
する筈はない

だとすると  
自分の存在だけを  
消そうとする  
だろうからな



た、タクミ?  
タクミって…

一体、何が  
どうなって  
るんだ?



後で詳しく  
説明するよ  
仁おじさん



タクミ  
おい、タクミっ!



ヤバイ  
間に合わなかったか!?



シゲル以外の人間がここに居ると言うことは

君か？



ん……



あ、アキラ？  
ここは……  
どこなんだ？

ここはたぶん俺の……いや、俺たちの意識の底だ

……は？

君が自分の存在を消そうとした時に、いつかの意識層が、つなごうとしたらう



そうか

俺たちは  
出来事や  
経験の記憶を  
共有してたな



で

なぜ  
あんな  
ことを？



シゲルと  
お前にとっちゃ  
俺は、邪魔者さ

わかってる  
だろ？



ばっ  
馬鹿とは何だ  
馬鹿とは！

匠、おまえ  
馬鹿だろ？



.....



君は、シゲルが  
そんなつもりで  
あ言ったと  
思ってるのか？

それに、君が今  
気になってるのは  
ノボルじゃなくて  
シゲルのことだろ？

匠

ノボルが  
居なく  
なっちまって  
辛い気持ちは  
わかる

でも

もしノボルが  
見つかったても  
話がややこしく  
なるだけだ

じゃあ、お前は  
さらにその馬鹿の  
上に成り立って  
るんだから

大馬鹿  
じゃねーか

そっか  
そうだな

俺は君より  
上の最上級  
馬鹿だな

あははは

何笑ってん  
だよ

でなきゃ  
シゲルに  
腹を立てて

あんな馬鹿……  
いや……おかしな  
真似はしない  
だろうし

俺は  
君という  
プラット  
フォームが  
なければ  
成立しない

そして、俺たちは  
共にシゲルの  
ことを愛してる……

逆に  
君の意識が  
存在するには  
俺の体が必要だ

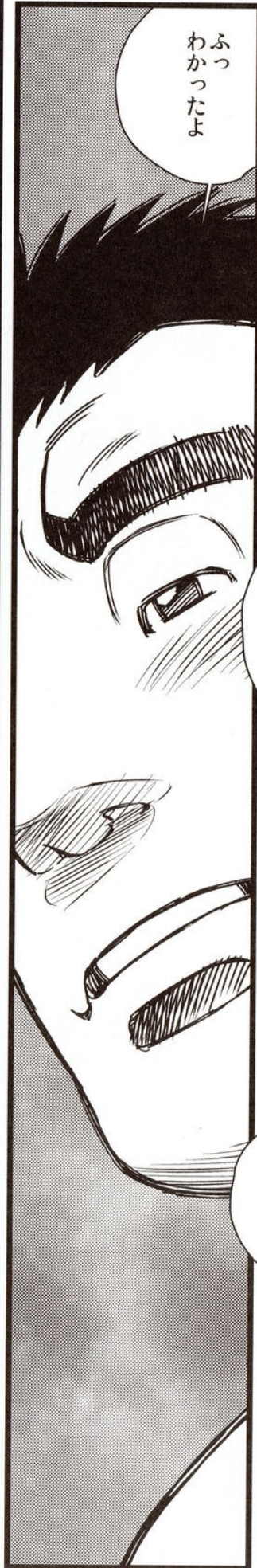
なあ  
こうしないか？

ここはお互い  
意識体として  
共存するって  
ことでどうだ？

どのみち  
出来事や経験の  
記憶は共有される  
んだしな

アキラ  
……

ましゃーねーか



ふっ  
わかったよ



ただし  
俺にはタチは  
できないからな

そっちの方は  
君に任せるよ

その代わり  
シゲルの  
チンゲルの味は  
俺のケツで  
きっちり覚えといて  
やるから(笑)

ほら、匠



スケベな  
虎だなー

TO BE CONTINUED...